

安定のニーズ

何か解決したいことが起きたとき、
真っ先に頭に思い浮かぶものは何ですか？
「お金さえあれば解決できるのに」と思いますか？

お金さえあれば解決できると思っている人ほど、
実はお金に苦労し続ける可能性が高かったりします。

例えお金が手に入って解決できたとしても、
状況は以前より悪くなってしまうことが多いです。

「お金を使って解決する」というのは
誰もがスグに思いつく手軽な方法です。

実際には、問題が起きたときに重要なのは
お金ではなく戦略だったりします。

お金を使わなくても頭を使えば、
解決する方法は無限にあります。

「お金さえあれば解決できる」と安易に考えるのは
思考停止に陥っている証拠なのです。

『考えない習慣』によって「お金がないから解決できない」
という安易な結論を出してしまっているのです。

「お金」という安易な結論に飛びつかず、
「お金を使わずに解決できる方法はないか？」と、
常に考える習慣を身に着けます。

安定のニーズと承認のニーズ

人には誰でも「安定したい、安全でいたい」
「価値ある存在でありたい」という欲求があります。

安定したい、安全でいたいという
「安定感」だけを強く求めてしまうと

もし、安定が低いレベルで満たされてしまった時、
私たちは退屈を感じ、その退屈さを紛らわすために
安定を破壊してまた低いレベルの安定を得ようとしめます。

自分が求めていた通りに安定させることに成功したのに、
安定してしまうと今度は刺激が足りなくなるから
自分で自分の安定を壊して、また安定を求め始める、

ということをやってしまうのです。

自分をよく観察してみると本当にこのとおりに
行動しているな、と気づくと思います。

もし、安定が満たされなかったら、
(必要な変化であったとしても)
変化を極端に嫌ってしまいます。

こういった思考が習慣になっていると

- ・絶対に負けない方法があると思い込み、
それを手に入れようとする
- ・トータルで利益が出ると確認していても、
不安感を感じ続けてしまう

- ・トレードするたびにその結果を予測してしまう

- ・実際にお金を運用する時に
リスクが取れなくて結果が出ない

という状況におちいりやすくなります。

「価値ある存在でありたい」だけを
強く求めてしまうと自分の幸福感を
他人（外側）からの評価で測ってしまうため、

他人（外側）をどうにかコントロールして
幸福感を得ようとしてしまいます。

その結果、他人とのつながりが薄くなり、
「愛されること」から遠ざかってしまいます。

他人と繋がる、愛されるにはもっと
価値ある存在でなければならない、
と考え、ますます「価値ある存在でありたい」
という欲求を求めてしまいます。

- ・自分の存在の正しさをそれぞれの
トレード結果に反映してしまう。

- ・確率的に必然である損切に対して
「自分に能力がないからだ」と思う

- ・トータルではなく一つ一つのトレードに
対して結果を自分でコントロールしようとする
（安定を満たしたくなる）

という状況におちいりやすくなります。

「安定したい、安全でいたい」（安定のニーズ）
「価値ある存在でありたい」（承認のニーズ）

これらは人間にとって重要なニーズです。

「安定」と「承認」のニーズを
高いレベルで満たすことで
よりよい人生を生きることができます。

しかし、このニーズだけに集中してしまうと
逆に満たされにくくなってしまいます。

なので、これらのニーズを満たす
対象の抽象度を上げていきます。

- ・「個別のノウハウ」ではなく「原則」
- ・「仕事」ではなく「稼ぐ力」
- ・「金融資産」ではなく「価値創造の潜在能力」

抽象度を高くしながら安定のニーズを満たしていく。

そうすれば今の状況を変えていくことができます。

抽象度とは

抽象度とは、簡単に言うと
「抽象度の高い人＝本質のわかっている人」
ということになります。

例えば犬を指さして「コレは何？」と聞かれたとき

「柴犬」＝抽象度が低い
「うちで買っている犬」＝抽象度が少し高い
「愛玩用の動物」＝抽象度が高い

という感じです。

『具体的＝抽象度が低い』となり、
具体的なものの共通点を抜きだすことで
抽象度が高くなっていきます。

例えば、「孫子の兵法」という、
戦争の本質が書かれた兵法がありますが
抽象度を上げて理解することで
現代のビジネスに応用することができます。

**本質を考えるのを面倒くさがるのは
抽象度が低いといえます。**

例えば、数学で途中の計算式をすっ飛ばして
答えにたどりつきたくなる場合は

「なぜ」その答えになるのかに興味がないので
計算の本質が理解できません。

相場の世界に例えると、儲け方の本質を理解せずに
「このやり方なら必ず儲かる」と抽象度の低い考えで
突っ走ってしまうことです。

抽象度があまりにも低すぎると
「ワンクリックで100万円儲かります」
「この裏ワザさえ手に入ればスグ稼げます」
といった甘い言葉にだまされやすいです。

高い抽象度で相場を考える

実際にチャートを見る時に
高い抽象度で見るとどうなるかというと

1分足や5分足といった小さな足は
具体的な動きとして捉えます。

その具体的な動きがどこから来ているか？と
4時間足や日足の動きを考慮しながら
1分足や5分足の動きを考えることができます。

さらに抽象度を上げていくと、売り方、買い方の力の攻防や
移動平均線に収束する力と発散する力のバランスなどに
注目できるようになります。

抽象度の高い思考ができるようになると
見える世界が広がり、認識できる情報が増えます。

山の頂上からふもとを見渡している感じで、
多くのことを高いところから広く見渡して
理解することができるような感じです。

その結果、自分にとって有益な情報を
選択する幅も広がります。

高いレベルで安定のニーズを満たす

- ・ テレビで流される刺激的な情報（ニュースやワイドショー）
- ・ 読むだけで「行動につながらないメルマガ」の購読
- ・ SNSやネットサーフィンで刺激を受ける
- ・ 携帯ゲームで時間をつぶす

こういったものはあなたを「低いレベルの変化」で満足させてしまい、本当に必要な「変化」を遠ざけてしまいます。

今の現状から大きくかけ離れた行動をやってみると
今満足している安定がどれほど低いレベルかに
気づくことができます。

例えば、一人で海外旅行に行く予定で本気で計画を立ててみる、
周囲に「一人で海外旅行に行く」と宣言してみる。

本当に行くかどうかは別として、

そういったことを実際に試すことで

今の現状を破って広い世界を見ることができる意識
を育てることができます。